



平成25年11月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成25年10月11日

上場会社名 株式会社ファンドクリエーショングループ 上場取引所 東
 コード番号 3266 URL <http://www.fc-group.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 田島 克洋
 問合せ先責任者 (役職名) 経営企画部長 (氏名) 吉田 隆 TEL 03 (5212) 5212
 四半期報告書提出予定日 平成25年10月15日 配当支払開始予定日 ー
 四半期決算補足説明資料作成の有無： 無
 四半期決算説明会開催の有無： 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年11月期第3四半期の連結業績（平成24年12月1日～平成25年8月31日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年11月期第3四半期	516	△86.1	1	—	△15	—	△16	—
24年11月期第3四半期	3,712	567.2	△17	—	△98	—	△111	—

(注) 包括利益 25年11月期第3四半期 4百万円 (—%) 24年11月期第3四半期 △102百万円 (—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年11月期第3四半期	△0.46	—
24年11月期第3四半期	△3.02	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
25年11月期第3四半期	2,688	1,209	44.9	32.82
24年11月期	2,705	1,205	44.4	32.68

(参考) 自己資本 25年11月期第3四半期 1,207百万円 24年11月期 1,202百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年11月期	—	0.00	—	0.00	0.00
25年11月期	—	0.00	—	—	—
25年11月期(予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注) 直前に公表されている配当予想からの修正の有無： 無

3. 平成25年11月期の連結業績予想（平成24年12月1日～平成25年11月30日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	610	△90.1	66	—	60	—	50	—	1.36

(注) 直前に公表されている業績予想からの修正の有無： 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 有
新規 1社 （社名）有限会社ヘラクレス・プロパティ
除外 1社 （社名）ペトリュス・プロパティ合同会社

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 有
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	25年11月期3Q	37,067,371株	24年11月期	37,067,371株
② 期末自己株式数	25年11月期3Q	277,500株	24年11月期	277,500株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	25年11月期3Q	36,789,871株	24年11月期3Q	36,789,871株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

・この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビューの手続きの対象外ではありますが、この四半期決算短信の開示時点において金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了しております。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、四半期決算短信（添付資料）3ページ「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 継続企業の前提に関する重要事象等	3
4. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 継続企業の前提に関する注記	8
(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	8
(5) セグメント情報等	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間（平成24年12月1日～平成25年8月31日）における国内経済は、昨年末の政権交代以降、政府による新たな経済対策や日銀の大規模な金融緩和策を受けて、デフレ状態からの脱却に向けた動きが徐々に表れるなど企業収益の改善に明るい兆しが見られました。

当社グループの主要事業である不動産ファンド業界では、J-REIT市場において、日銀による「量的・質的金融緩和」に、J-REITの買入れの拡大が盛り込まれたこと等により、一時、東証REIT指数は大幅に上昇しました。その後調整が続いたものの、J-REITによる物件取得は活発に行われ、その結果、私募ファンドによる物件取得もより活発に取引される等、事業環境は回復基調で推移しました。国内株式市場においては、円安が進行し企業業績が回復するとの期待が強まったことから、日経平均株価は、概ね堅調に推移しました。

こうした状況の下、当社グループは、新ファンド組成の提案やファンド運用資産残高、不動産等受託資産残高の拡大に向けて営業力の強化を図り、証券会社等に対して営業活動を行ってまいりました。インベストメントバンク事業においては、割安で優良な不動産物件の購入・売却活動を積極的に行い、売却収益を計上いたしました。アジア事業においては、台湾の投資家に日本の優良物件を紹介し一部成約する等着実に成果が出つつあります。また、太陽光発電ファンド事業においては、ファンド組成に向けて組織態勢を強化し、複数の事業案件を具体化すべく鋭意準備を進めてまいりました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の業績は売上高516百万円（前年同四半期の売上高3,712百万円）、営業利益1百万円（前年同四半期の営業損失は17百万円）、経常損失15百万円（前年同四半期の経常損失は98百万円）、四半期純損失16百万円（前年同四半期の四半期純損失は111百万円）となりました。

<アセットマネジメント事業>

当第3四半期連結会計期間末において、当社グループが運用するファンド運用資産残高は153億円（一部円換算US\$1.00=98.36円）、当社グループがアセットマネジメント業務を受託している不動産等の受託資産残高は292億円となりました。

不動産ファンドにつきましては、アセットマネジメントフィー及びファンド管理報酬等を計上いたしました。証券ファンドにつきましては、外国投資信託の管理報酬を計上いたしました。この結果、アセットマネジメント事業は、売上高166百万円（前年同四半期比13.7%減）、営業損失30百万円（前年同四半期の営業損失は20百万円）となりました。

<インベストメントバンク事業>

不動産投資等部門では、当社グループが保有する不動産等からの不動産賃貸収入及び保有する販売用不動産の売却による収入等を計上いたしました。証券投資等部門では、売買目的有価証券の運用益、金融商品仲介業務による報酬等を計上いたしました。この結果、インベストメントバンク事業は、売上高350百万円（前年同四半期の売上高3,520百万円）、営業利益127百万円（前年同四半期比2.1%増）となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第3四半期連結会計期間末において、資産、負債及び純資産の状況は以下のとおりであります。

(資産の状況)

流動資産は前連結会計年度末比282百万円増の2,481百万円となりました。これは主に、資金運用方針の変更に伴う投資有価証券から売買目的有価証券及び事業関連投資の営業投資有価証券への振替え等によるものであります。

固定資産は前連結会計年度末比299百万円減の206百万円となりました。これは主に、保有する投資有価証券の有価証券及び営業投資有価証券への振替え等による減少であります。

以上の結果、資産の部は2,688百万円となり、前連結会計年度末比17百万円減となりました。

(負債の状況)

流動負債は前連結会計年度末比28百万円減の1,439百万円となりました。これは主に、借入金の減少を中心に未払債務が減少したことによるものであります。

固定負債は前連結会計年度末比6百万円増の38百万円となりました。これは主に、その他の固定負債の増加によるものであります。

以上の結果、負債の部は1,478百万円となり、前連結会計年度末比22百万円減となりました。

なお、当第3四半期連結会計期間末において、有利子負債は前連結会計年度末比18百万円減の1,335百万円となりました。

(純資産の状況)

純資産の部は1,209百万円となり、前連結会計年度末比4百万円増となりました。これは、主に四半期純損失の計上と有価証券評価差額金の増加によるものであります。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成25年11月期通期の連結業績予想につきましては、平成25年1月11日公表の平成24年11月期決算短信から変更はありません。なお、平成25年7月3日付で公表いたしました「業績予想の修正に関するお知らせ」を併せてご参照ください。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

第2四半期連結会計期間において、(有)ヘラクレス・プロパティは重要性が増したため連結の範囲に含め、ペトリュス・プロパティ(同)は平成25年3月27日付で匿名組合出資契約が終了したため連結の範囲から除外しております。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(減価償却方法の変更)

当社及び国内連結子会社は、法人税法の改正に伴い、第1四半期連結会計期間より平成24年4月1日以後に取得した有形固定資産について、改正後の法人税法に基づく減価償却方法に変更しております。

なお、この変更による営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益に与える影響は軽微であります。

(追加情報)

第2四半期連結会計期間において資金運用方針を変更したことにより、その他有価証券の一部を売買目的有価証券及び事業投資目的有価証券に変更しております。この保有目的の変更により、投資有価証券が422百万円減少し、有価証券が121百万円、営業投資有価証券が300百万円増加しております。なお、保有目的変更時の評価差額99百万円については売上高に含めており、この結果、当第3四半期連結累計期間における売上高に含まれる有価証券評価益は63百万円であります。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません。

4. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年11月30日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年8月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,041	870
売掛金	24	24
未収入金	19	7
有価証券	14	128
営業投資有価証券	5	314
販売用不動産	1,024	1,049
その他	68	88
貸倒引当金	△1	△1
流動資産合計	2,198	2,481
固定資産		
有形固定資産	24	22
無形固定資産	1	0
投資その他の資産		
投資有価証券	379	83
その他	101	99
投資その他の資産合計	480	183
固定資産合計	506	206
資産合計	2,705	2,688
負債の部		
流動負債		
短期借入金	100	100
1年内返済予定の長期借入金	1,253	1,235
未払金	33	34
未払法人税等	7	4
その他	73	65
流動負債合計	1,468	1,439
固定負債		
その他	31	38
固定負債合計	31	38
負債合計	1,500	1,478

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年11月30日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年8月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,131	1,131
資本剰余金	609	609
利益剰余金	△531	△548
自己株式	△15	△15
株主資本合計	1,193	1,177
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	10	30
為替換算調整勘定	△1	0
その他の包括利益累計額合計	8	30
少数株主持分	3	2
純資産合計	1,205	1,209
負債純資産合計	2,705	2,688

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成23年12月1日 至 平成24年8月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成24年12月1日 至 平成25年8月31日)
売上高	3,712	516
売上原価	3,365	180
売上総利益	346	336
販売費及び一般管理費	364	335
営業利益又は営業損失 (△)	△17	1
営業外収益		
受取利息及び配当金	10	2
為替差益	—	1
その他	2	0
営業外収益合計	13	4
営業外費用		
支払利息	94	19
その他	0	1
営業外費用合計	94	20
経常損失 (△)	△98	△15
税金等調整前四半期純損失 (△)	△98	△15
法人税、住民税及び事業税	5	4
法人税等調整額	6	△2
法人税等合計	12	2
少数株主損益調整前四半期純損失 (△)	△111	△17
少数株主損失 (△)	△0	△0
四半期純損失 (△)	△111	△16

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成23年12月1日 至平成24年8月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成24年12月1日 至平成25年8月31日)
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△111	△17
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	8	20
為替換算調整勘定	0	1
その他の包括利益合計	8	22
四半期包括利益	△102	4
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△102	5
少数株主に係る四半期包括利益	△0	△0

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報等

I 前第3四半期連結累計期間（自平成23年12月1日至平成24年8月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

	報告セグメント			合計 (百万円)
	アセットマネ ジメント事業 (百万円)	インベストメントバンク事業		
		不動産投資等部門 (百万円)	証券投資等部門 (百万円)	
売上高				
外部顧客への売上高	192	3,506	13	3,712
セグメント間の内部売上高 又は振替高	8	—	—	8
計	201	3,506	13	3,721
セグメント利益又は損失(△)	△20	130	△5	103

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

利益	金額(百万円)
報告セグメント計	103
セグメント間取引消去	28
全社費用(注)	△149
四半期連結損益計算書の営業損失(△)	△17

(注)全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第3四半期連結累計期間（自平成24年12月1日至平成25年8月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

	報告セグメント			合計 (百万円)
	アセットマネ ジメント事業 (百万円)	インベストメントバンク事業		
		不動産投資等部門 (百万円)	証券投資等部門 (百万円)	
売上高				
外部顧客への売上高	166	254	96	516
セグメント間の内部売上高 又は振替高	0	—	—	0
計	166	254	96	516
セグメント利益又は損失(△)	△30	61	65	96

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容（差異調整に関する事項）

利益	金額（百万円）
報告セグメント計	96
セグメント間取引消去	28
全社費用（注）	△124
四半期連結損益計算書の営業利益	1

（注）全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
該当事項はありません。